

# 船舶事故等調査報告書（軽微）

1	船舶事故	計	39件
2	船舶インシデント	計	16件
		合 計	55件

平成24年10月26日

## 船舶事故等調査報告書（軽微）一覧

### （函館事務所）

- 1 漁船第二十一吉祥丸運航不能（機関損傷）
- 2 遊漁船第十八栄峰丸座洲
- 3 漁船第三十八宝亀丸運航不能（発電機警報盤故障）
- 4 貨物船第六十八幸栄丸乗揚
- 5 漁船第三開運丸運航不能（機関損傷）

### （仙台事務所）

- 6 プレジャーモーターボートコンテッサ転覆
- 7 プレジャーボート海沈没

### （横浜事務所）

- 8 水上オートバイ（船名不詳）衝突（橋脚）
- 9 砂利運搬船第三十六さだ丸養殖施設損傷
- 10 遊漁船豊丸安全阻害
- 11 作業船仙丸乗揚（養殖筏）
- 12 ミニボート（船名なし）転覆
- 13 ヨット S P I R I T O F DELPHI VI乗揚（定置網）
- 14 モーターボート二宮丸運航不能（機関損傷）
- 15 モーターボート日高丸運航阻害

### （神戸事務所）

- 16 自動車運搬船 TRANS FUTURE 6 水先艇べいばいろっと7衝突
- 17 油タンカー中栄丸乗揚
- 18 モーターボート山田くん転覆
- 19 漁船第二十三錦生丸運航不能（機関損傷）

- 20 モーターボート毅雄転覆
  - 21 漁船第五天祐丸運航不能（機関損傷）
  - 22 漁船第八大洋丸乗揚
  - 23 旅客フェリーさんふらわあさつま運航阻害
  - 24 引船第八寿丸運航不能（燃料油供給障害）
  - 25 貨物船三萬吉4衝突（岸壁クレーン）
  - 26 漁船第三神徳丸運航阻害
  - 27 コンテナ船つるかぶと運航不能（機関損傷）
  - 28 漁船みのる丸モーターボートH&H衝突
  - 29 貨物船第十六善丸乗揚
  - 30 学術研究船白鳳丸衝突（岸壁）
- ### （広島事務所）
- 31 貨物船神竜丸運航不能（機関損傷）
  - 32 ケミカルタンカー大光丸衝突（浮ドック）
  - 33 貨物船第五住栄丸乗揚
  - 34 引船立栄丸はしけ㊟125衝突（灯浮標）
  - 35 引船菜穂台船KS-2衝突（岸壁）
  - 36 貨物船名凜丸貨物船第八あずま丸衝突
  - 37 自動車専用船第八光洋丸乗揚
  - 38 自動車運搬船日翔丸衝突（岸壁）
  - 39 貨物船あさひふじ乗揚
  - 40 油送船青豊丸灯浮標損傷
- ### （門司事務所）
- 41 貨物船博勇丸衝突（灯浮標）

- 42 漁船仁栄丸乗揚
- 43 押船第二十一栄進丸バージ第二十一  
栄進丸乗揚
- 44 漁船第一吉栄丸運航不能（機関損  
傷）
- 45 砂利・石材運搬船兼貨物船第三大  
栄丸衝突（灯浮標）
- 46 引船301 WOOSUNHO 台船 EJ G-38  
漁船第十一宝漁丸衝突
- 47 貨物船 SEA STAR 運航不能（電源  
喪失）  
（長崎事務所）
- 48 リバーラフト（船名なし）乗船者  
負傷
- 49 モーターボートはちまん漁船輝粒  
丸衝突
- 50 貨物船翔海丸乗揚
- 51 漁船弘恵丸定置網損傷  
（那覇事務所）
- 52 漁船大吉丸乗揚
- 53 貨物船 APL THAILAND 貨物船 MELL  
SEBAROK 衝突
- 54 砂利採取運搬船明彦丸乗揚
- 55 プレジャーボートエターナル乗揚

船舶事故等調査報告書

平成24年9月27日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012神第20号	
事故等種類	運航阻害	
発生日時	平成23年12月21日（水） 03時42分ごろ	
発生場所	高知県室戸市室戸岬東北東方沖 室戸岬灯台から真方位072° 13.0海里（M）付近 （概位 北緯33° 18.8′ 東経134° 25.3′）	
事故等調査の経過	平成24年2月22日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	旅客フェリー さんふらわあさつま、12,415トン	
船舶番号、船舶所有者等	133835、株式会社フェリーさんふらわあ	
乗組員等に関する情報	機関長、一級海技士（機関）	
死傷者等	なし	
損傷	主機 左舷主機の1番シリンダライナ及びピストン等が焼損	
事故等の経過	<p>本船は、船長及び機関長ほか23人が乗り組み、旅客122人及び車両165台を乗せ、平成23年12月20日18時20分ごろ鹿児島県志布志市志布志港を出港して阪神港大阪区大阪南港に向かった。</p> <p>本船は、翌21日03時42分ごろ、室戸岬灯台から真方位072° 13.0M付近を航行中、左舷主機オイルミスト警報及び左舷主機減速要求警報が作動したので、直ちに両舷翼角を下げて減速したのち、03時47分ごろ左舷主機を停止し、右舷主機のみで航行を続け、10時50分ごろ大阪南港F7岸壁に着岸した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 4</p> <p>海象：波高 約1.5m</p>	
その他の事項	<p>本船は、左舷主機オイルミスト警報と同時に機関室火災警報が作動したが、火災は発生しなかった。</p> <p>本船は、着岸後、左舷主機を開放点検した結果、左舷主機1番シリンダのシリンダライナ、ピストン等が焼損して固着しており、シリンダライナ、ピストン等の交換作業を行った。</p> <p>本船は、試運転ののちに開放点検を行った結果、異状がなかったので運航を再開し、12月21日19時45分ごろ大阪南港を出港した。</p> <p>本船は、出力12,577kWのディーゼル機関を2基搭載していた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、室戸岬東北東方沖を航行中、左舷主機の1番シリンダで燃焼ガスがブローバイしたことから、同主機の運転ができなくなり、運航が阻害されたものと考えられる。</p>
原因	本インシデントは、夜間、本船が、室戸岬東北東方沖を航行中、左舷主機の1番シリンダで燃焼ガスがブローバイしたため、同主機の運転ができ	

	なくなったことにより発生したものと考えられる。
--	-------------------------